

エチオピア月報(2018年7月)

主な出来事

【内政】

- 4日, 人民代表議会は2018/19年度予算として, 3,469億ブルを承認(対前年比3.6%増)。
- 5日, 人民代表議会は, OLF, ONLF及びギンボット7のテロ組織指定解除を承認。
- 9日, 人民代表議会は, 国家反逆罪等で有罪又は容疑を掛けられた個人及び団体に適用可能な恩赦法案を承認。
- 24日, 南部諸民族州(SNNPR)は, デシ州知事の後任として, ミリオン氏を指名。
- 26日, マスカルスクウェアに駐車された車中から, シメニューGERDプロジェクト・マネージャーが射殺体で発見された。

【外政】

- 13日-16日, イサイアス・エリトリア大統領がエチオピアを訪問。
- 24日-25日, アビイ首相はイサイアス・エリトリア大統領と共にUAEを訪問し, ムハンマド・アブダビ皇太子と三者首脳会談を実施。
- 26日-30日, アビイ首相は米国を訪問し, ペンス米副大統領及びラガルドIMF専務理事との会談並びにディアスポラとの対話集会等を実施。

【経済】

- 18日, ゲタチョウ国家計画委員会副委員長は, エチオピアは5カ年計画 GTP II で定める二桁の経済成長の達成は難しいと述べた
- 18日, エチオピア航空はアスマラへのフライトを再開

【内政】

- 4日, 人民代表議会(当国下院)は, 2018/19年度予算として, 3,469億ブルを承認。対前年比3.6%増加。(4日, FBC)
- 5日, 人民代表議会は, オロモ解放戦線(OLF), オガデン民族解放戦線(ONLF)及びギンボット7(PG7)について, テロ組織指定を解除する決議を承認。(5日, FBC)
- 12日, オロモ解放戦線(OLF)はエチオピア政府に対して停戦を宣言(12日, FBC)
- 13日, ムラトゥ大統領は新大使8名を指名。(13日, FBC)
- 19日, 人民代表議会は, 国家反逆罪, 憲法秩序違反及び武装闘争の罪で有罪又は容疑を掛けられた個人及び団体に適用可能な恩赦法案を承認。(19日, FBC)
- 24日, 南部諸民族州(SNNPR)は, デシ州知事の後任として, ミリオン知事を指名。(24日, FBC)
- 26日, アディスアベバ中心部のマスカルスクウェアに駐車された車中から, グランド・ルネッサンス・ダム(GERD)のシメニュー・プロジェクト・マネージャーが射殺体で発見された。(26日, FBC)

【外政】

- 13日-16日、イサイアス・エリトリア大統領がエチオピアを訪問し、アビィ首相とミレニアムホールで開催されたコンサートに出席し、両国はあらゆる面において新たな協力に取り組んでいく旨述べたほか、ムラトゥ大統領への表敬訪問、ハワサ工業団地の訪問及びマスカル・スクウェア周辺に所在するエリトリア大使館の開館式に出席する等した。(13日-16日, FBC)
- 19日、政府はエリトリア大使にレドワン氏を任命した。(19日, FBC)
- 24日-25日、アビィ首相はイサイアス・エリトリア大統領と共にUAEを訪問し、ムハンマド・アブダビ皇太子とともに三者首脳会談を実施し、同皇太子より、エチオピア・エリトリア和平への功績を称える最高位の勲章をイサイアス大統領と共に授与され、また、共同声明を発出し、国際社会に対して歴史的かつ建設的なエチオピア・エリトリア間の平和、安定及び発展の促進の合意への支援を呼び掛けた。(19日, FBC)
- 26日-30日、アビィ首相は米国ワシントンDC、フロリダ州、ミネソタ州を訪問し、ペンス米副大統領との会談、ラガルドIMF専務理事との会談、ディアスポラ及び在米エチオピア競合政党との対話集会並びにエチオピア正教分派との面会を行った。また、ミネアポリスに総領事館を開館する旨公表した。(27日-31日, FBC, ENA)

【経済】

1. 経済全般・財政・金融

- アディスアベバ商工・工業会によるパネルディスカッションにおいて、専門家は、エチオピア国営銀行の再構築等の改革なしには、経済成長の停滞や不況の発生につながるだろうと述べた。専門家は、15%の通貨の引き下げについて、輸出製品の上昇に比して輸出等の具体的な効果は見られないと指摘した。(1日, Capital)
- 外貨交換のブラックマーケットは最大 36.6 ブル／米ドルであり、公式取引価格 27.5 ブル／米ドルと大きな差が生じていたが、この 2 週間でその差は 19.4%ポイント縮小するという大きな変化があった。(5日, Fortune)
- エチオピア国会は 2018/2019 年度予算として 3,469 億ブルを承認した(昨年度比 36 億ブル増)。そのうち、916.7 億ブルは定期支出に、1,136.3 億ブルは資本支出に、1356 億ブルは地方政府への補助金に、60 億ブルは SDGsに割り当てられる。新政権は完成していないメガ・インフラプロジェクトを注視しており、アビィ首相は、同プロジェクトの完成なしに新プロジェクトは実施しないだろうと述べた。(7-9日, The Daily Monitor)
- 中央統計局の発表によると、6月のインフレ率は 14.7%となり、今次エチオピア会計年度で 3 番目に高い数値となった。2017/2018 年度の平均インフレ率は 13%となり、過去 4 年間で最も高い数値である。食糧のインフレ率は 17.9%(前月比 3%増)となり、この一年間で最も高くなった。(8日, Fortune)
- ブラックマーケットにおける米ドルの価値は、5日に 34.5 ブルだったものが、6日に 32 ブルとなり、7日には 28 ブルに下落した。6月 29 日には 37 ブルであり、驚くべき大きな下落である。

専門家は大きな変化の前兆ではないかと考えている。(8日, Capital)

- 7日, アディスアベバ上・下水局は, 住民の水需要を賅う水量は十分にあるが, 外貨不足により配水が問題であると述べた。過去5年間で新しい井戸の掘削等により同市の水供給率は2013年の53%から92%まで増加したが, 外貨不足による井戸掘削ができない等により65%まで落ち込んだと述べた。(15日, Capital)
- 18日, ゲタチヨウ国家計画委員会副委員長は, エチオピアは5カ年計画GTP IIで定める二桁の経済成長の達成は難しいと述べた。全ての分野で予測した水準に満たしておらず, マクロ経済指標では目標より1.5%低い。目標を達成するためには, 精力的に努力することが必要であり, 特に輸出の増加, 債務の最小化が重要であると述べた。(20日, The Daily Monitor)
- アビィ首相は, 国民に対し, タンス預金をやめるとともに, 外貨交換の際はブラックマーケットを使用しないよう呼びかけた。(22日, Capital)

2. 貿易・投資・ビジネス

- エチオピアの豆類の30%を輸入するインドは, 燻製消毒処理が出来ていないとして, 輸入を禁止した。インドはエチオピアに対し, 燻製消毒処理を行うよう6ヶ月間, 6月30日までの猶予を与えていたが, 昨日期限が来たため, 今後は同処理が行われな限り輸入が出来なくなる。これにより8000万米ドル/年の売上げを逃すこととなる。(1日, Capital)
- エチオピアは, 今年, 国際市場で競争可能なコーヒー製品を増加させることを目的に, コーヒー加工開発研究所を設立するに努めている。同研究所の設立により, 訓練された専門家の不足が解消されることが期待されている。ただし, 質の高いコーヒーが満足に供給されるかには疑問がある。(10日, The Ethiopian Herald)
- Health and Performance Food International(蘭)は, 2003年以降, 5カ国においてテフ生産の特許を取得した。エチオピア特許庁は, 同社を国際仲裁裁判所に訴える準備を行っている。エチオピアの努力もあり, 日本, 米国は同社の特許登録を却下した。(19日, The Ethiopian Herald)

3. エネルギー

- エチオピア政府はジブチ港のオイル貯蔵施設の建設計画を開始する。現在, ジブチ・オイルターミナルは容量不足によりエチオピア向けオイルの取扱いに限度が生じている。現在, 同ターミナルは31のタンクを有し, 30万立方メートルの石油製品を貯蔵でき, その半数をエチオピアが使用可能となっている。現在, 3万立方メートルのタンクの建設に2.2億米ドルの費用が必要と想定されている。(7日, The Reporter)
- Poly-GCLがカルブ・ヒララ・ゲナレ油田から採掘した最初の原油4.5万リットルが中国ガラス企業に到着した。採掘テストの成功により, 現在, 同社はガラス工場等への原油の輸送が可能となった。(7日, The Reporter)
- シンガポールのSembcorp Marineは, 当地でガス・石油油田を発見したPoly-GCLとジブチ港

のガス加工ターミナル開発について協議を開始した。同社が提案するガス加工ターミナルは沖合に設置される FLNG と呼ばれる技術である。(14 日, The Reporter)

4. 工業・運輸

- エチオピア航空は、需要の増加により大型旅客機を活用する方が適切との判断から、100 席の小型旅客機の導入計画を停止した。アフリカ最大の同社は、ボンバルディアの C シリーズ(現エアバス A220)及びエンブラエル E195 に注目していたが、同注文は計画から落ちたとテウォルデ・エチオピア航空CEOは述べた。(17 日, The Daily Monitor)
- 外務省は、エチオピアとエリトリア・アッサブ港を結ぶ道路の再開の加速化に向けて取り組んでいると述べた。ニカ国は国境の地域と協力し、道路の再開の実現に向けて取り組んでいる。エチオピア道路庁は、アディスアベバとアスマラ間には4ルート of 道路で接続される。(18 日, The Daily Monitor)
- エチオピア・エリトリア間の平和及び友好宣言を受け、18 日より、エチオピア航空はアスマラへのフライトを再開する。(18 日, The Ethiopian Herald)
- ジブチ政府と DP World はドラレ・コンテナ・ターミナルの 50 年間のコンセッション契約について論争状態にある。ジブチ政府は補償として DP World の保有する 33%の株式を 5 億米ドルで買収すると提案したと述べたが、DP World はジブチ政府からいかなる提案も受けていないと述べた。(29 日, Fortune)

5. その他

- Bill and Melinda Gates 財団は、第 3 期 Alive & Thrive プロジェクト 5 年計画の一部として、1500 万米ドルの母子栄養プロジェクトを立ち上げた。(18 日, The Ethiopian Herald)
- 保健省は、政府予算で 9 地域において 100 のヘルスポストを建設する。新設ポストは既存の 17,187 カ所のポストの一部と置換えられる。また、同省は既存 136 箇所のヘルスポストの修繕を実施する。残りの古いヘルスポストは地方の健康局により今後 10 年程度で再建設される予定。(29 日, Fortune)

6. 各国動向

- 米国はエチオピア国内避難民の人道支援として、1.7 億米ドルを拠出する。基本的に、本資金は、ゲデオー西グジの約 100 万人の避難民支援に使用される。本拠出を加え、2016 年 10 月以降、米国から人道支援として拠出された資金は 8.02 億米ドルに上る。(28 日, The Reporter)